

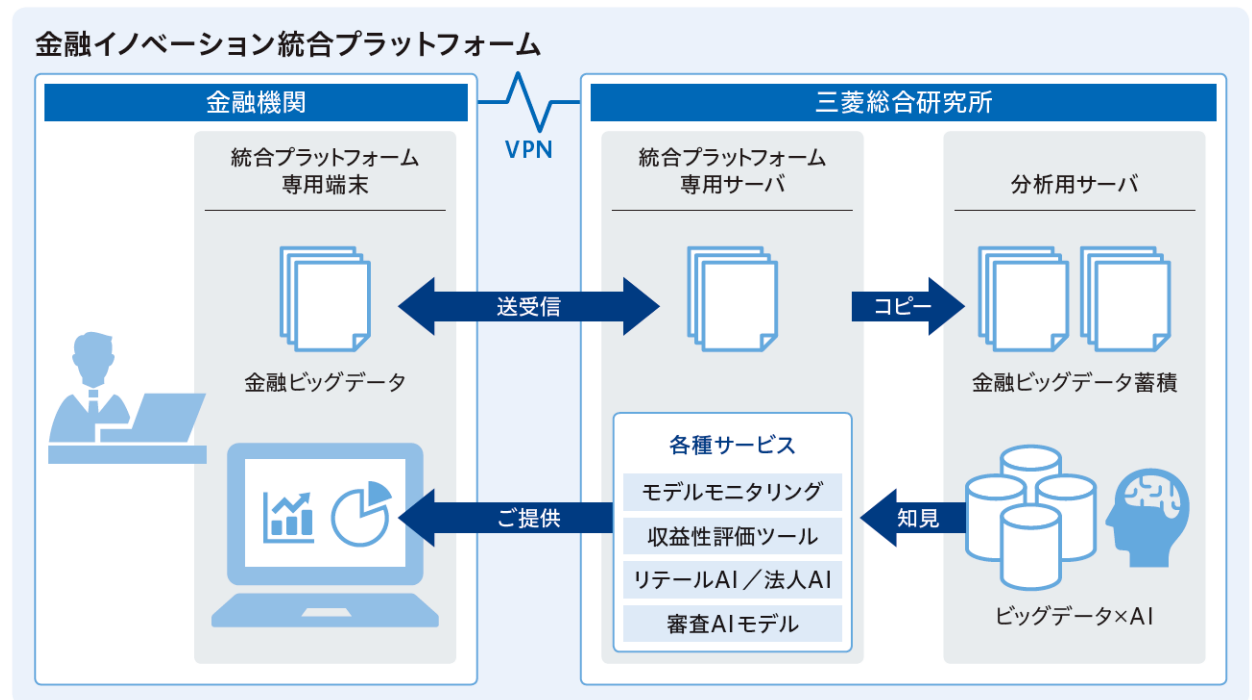
金融イノベーション 統合プラットフォーム



「金融イノベーション統合プラットフォーム」によるサービス提供の革新

サービス提供の革新

- 金融機関様ではビッグデータの活用に向けて、情報セキュリティやデータの容量・蓄積期間・連携時間、サービス提供時間などに関する課題解決が必要となっています。
- 「金融イノベーション統合プラットフォーム」は、金融機関様の専用端末と当社の専用サーバをネットワーク回線で接続します。
- 金融ビッグデータを当社のサーバで蓄積し、ポータルサイトを通じて金融機関様によるビッグデータ活用を支援するための各種サービス（モデルモニタリング、収益性評価ツール、各種AIサービスなど）を「より安全に」「より迅速に」「より確実に」ご提供するためのビジネスインフラです。



導入実績

- 地方銀行を中心に30の金融機関様と導入準備中です。
- うち、20の金融機関様で導入済みです。

3つのメリット

より安全に
Secure

- 従来の宅配便によるデータ授受は、遅配や破損・紛失のリスクが内在します。
- 敷設実績のあるVPN回線で、より安全にデータの授受を行います。

より迅速に
Speedy

- 従来の宅配便によるデータ授受は、集荷から配達までに平均3日を要しています。
- また、ビッグデータを必要とする場合、データ準備に数か月を要しています。
- VPN回線敷設と基盤データ連携により、迅速にサービスをご提供できます。

より確実に
Certainty

- 情報系システムのデータ蓄積期間の制約（蓄積期間13か月など）により、必要なデータが確保できずサービスをご提供できないケースがあります。
- あらかじめ基盤データを蓄積しておくことで、確実にサービスをご提供できます。

サービスメニュー

データ
連携機能

営業時間内であれば、ネットワーク回線を通じたデータ連携（アップロード、ダウンロード）をオンデマンドに実施することが可能です。

データ
蓄積機能

統合プラットフォーム専用サーバにアップロードされたデータは、よりセキュリティレベルの高い分析用サーバにデータ容量の制限なく蓄積します。蓄積しているデータは、ご要望に応じ任意にダウンロード可能です。

その他機能

ネットワーク回線を通じた新たなサービス（モデルモニタリング、収益性評価ツール、各種AIサービスなど）の提供を検討中です。

よくあるご質問

Q) 費用負担はどのような役割分担になっているのでしょうか？

A) 個別サービスの契約が1件以上あれば、金融機関様のご負担は、金融機関様側の専用端末準備と回線敷設工事費用のみとなります。

Q) その他本サービスを導入するために必要なことはありますか？

A) 当社指定の「金融イノベーション統合プラットフォーム提供契約書」の締結が必要です。

Q) 個別のサービス内容と直接関係のないデータの連携も可能でしょうか？

A) 最終的には金融機関様の判断となりますが、連携データの制限は設けていません。

導入に関するご相談等ございましたら、下記まで是非お問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社 三菱総合研究所
TEL : 03-6858-3580

金融DX本部

担当：堀 (ai_service@ml.mri.co.jp)